

登録コード	EKF04900	開講年度	2026			
授業科目	国語科授業内容研究				担当教員	小林 比出代 他
英文授業名	Study on Pedagogical Content (the Japanese Language)				副担当	藤原 崇雅
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・1時限	履修学年
講義室	教育M401		授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				【授業の達成目標】	
	26EAカリ、25EAカリ、24EAカリ					
	教育の専門職としての学識・技能				教育・研究活動を遂行する上で必須となる国語科教育に関する専門的知識・能力を授業内容の観点から習熟し、授業実践や研究活動に活用できるようになる。	
	24EAカリ					
	教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点				先行研究等を踏まえて、国語科教育学および関連する諸学問の専門性に裏付けながら、初等・中等教育段階における国語科の授業内容に関わる研究課題を、自ら設定することができるようにする。	
	子どもの多様なニーズへの対応力				言語に関する専門的知識・能力を習得して、教育活動に必至の公共的使命感倫理観を深化し、教育活動の場に生かすことができるようになる。	
	既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力				授業実践を含む教育活動を遂行するにあたって必要な専門的知識・能力を素地として、教育活動に必至の教養・専門性を深化した上で、授業実践を含む教育活動の場に幅広く柔軟に生かすことができるようになる。	
(2)授業の概要	演習形式で、国語科教育学・日本文学・日本語学・書写書道等の専門性に裏付けられた国語科教育の授業内容に関わる各自の研究課題についての発表を中心におこない、質疑応答・討議する。 初等・中等教育の目的に絡めながら主として授業内容に関する研究課題を、先行研究に位置付けつつ、教科の背景としての学問の専門性に基づいて設定する。					
(3)授業計画	第1回：各自の問題意識に基づく国語科の授業内容に対する課題設定 第2回：各自の研究課題に関わる先行研究の成果と課題 第3回：各自の研究課題に関わる関連学問の理論 第4回：各自の研究課題に関わる関連学問の研究手法の演習 第5回：研究課題に取り組む意義（教育実践上、教育学研究上）の議論 第6回：国語科の授業内容の構想についての議論 第7回：成果のまとめと研究課題解決のための構想発表（レポート提出） 授業アンケート 各回とも原則として複数の教員によるITで指導をする（分担、単独等は適宜対応）。					
(4)成績評価の方法	「授業の達成目標」4点について、次の方法によって総合的に評価する。 ・各回の発表内容（40％）、質疑応答・議論の内容（20％）、およびレポート（40％）によって評価する。 ・評価割合は、若干の調整をおこなうことがある。					
(5)履修上の注意	内容によって、授業日程や開催場所を変更することがある。 履修に当たっては、自らの研究課題を考慮し、指導教員と相談の上で決定すること。					
(6)質問、相談への対応および連絡先	オフィスアワー：担当教員への質問・連絡方法は、各自担当教員と相談して決定すること。 なお、別表「担当教員のオフィスアワー」を参照すること。					
(7)成績評価の基準	「卓越している」 秀：(1)研究課題、(2)理論的枠組み、(3)授業内容と専門性、(4)研究の意義、のすべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表、討議、およびレポート構成が実現できた上で、(1)～(4)のうち3つ以上について発展的な発表、討議、およびレポートが実現できている。 「かなり上である」 優：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表、討議、およびレポート構成が実現できた上で、(1)～(4)のうち2つについて発展的な発表、討議、およびレポートが実現できている。 「やや上にある」 良：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表、討議、およびレポート構成が実現できた上で、(1)～(4)のうちいずれか1つについて発展的な発表、討議、およびレポートが実現できている。 「水準にある」 可：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表、討議、およびレポート構成が実現できている。 「下にある」 不可：上記(1)～(4)について先行研究の成果と限界に基づいた発表、討議、およびレポート構成が実現できていない。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。					
(8)事前事後学習の内容について	【事前学習】質疑応答・討論のための資料を準備すること。また、研究課題に関連した文献等を、図書館等で検索・収集し、研究課題の設定の仕方や研究方法論に着目して要約したり、吟味したりすること。 【事後学習】質疑応答・討議を通じて生まれた課題について、事後に各自で調べて再検討すること。					
【教科書】	授業で指示する。					
【参考書】	授業で指示する。					